

ひまわりのおひなまつり

作 なかむらとつじ

登場人物

キミ ある日突然箱になった人物(箱)

ワタシ キミの身近な人物

舞台中央に人が腰かけられる大きさの真四角な箱

箱にスポットライトがあたっている

下手からワタシが登場。下手で語る。

ワタシ ある日、キミは箱になった。

気が付いたら箱になっていた。という方が正しいかもしれない。

箱のすぐ横に立つ。箱に話しかける。

ワタシ おはよう

箱の周りをぐるっと回り反対側から話しかける。

ワタシ たいま

また、箱の周りを回り反対側から話しかける。

ワタシ おはよう

再度、箱の周りをまわって反対側から話しかける。

ワタシ ただいまあ。

箱の周りをまわる足取りが重くなる。

ワタシ おはよう。(だんだん小さな声になる)

箱の周りを立ち止まりながらまわる。

ワタシ ただいまあ。

しばし、箱を眺める。側に寄る。

ワタシ トントントン。どうしてますか？

反対側に走っていく

ワタシ おはよう。どうしてますか？

箱の様子を見ながら 反対側にまわる。

ワタシ たいだいま。どうしてますか？

すぐ反対側に回る。

ワタシ おはよう。どうしてますか？

箱の周りを回る速度があがってくる。

ワタシ たいだいま。どうしてますか？

反対側

ワタシ おはよう。どうしてますか？

数回同じことがくりかえされる。ワタシ息が切れる。

座り込む。はって箱から下手の方へはなれていく。

なんとか立ち上がる。遠くから箱に声をかける。

ワタシ もしもーし。どうしてですか？元気ですか？生きてますか？

だんだん近くに寄っていく

ワタシ 何か気に入らないことがありましたか？何か気に触りましたか？

箱の横に座り込む。

ワタシ 何かあったんですか？

キミが理由なく箱になるなんてことがありますか。

誰かがあなたをこんなふうにしてしまったんですか？

誰のせいですか？どんな問題があったんですか？

話してください。なんとかします。

できることはなんでもします。

いったい、何があったのですか？

前からおかしいと思ってました。あの人ですか？

前に話してくれた人が原因ですか？

きっと、そつだ。そつだよね。

違つんですか？

もっと何か別の問題ですか？

箱に手をかけてゆする。箱反応しない。

ワタシ、箱から手を放す

ワタシ 誰のせいでもない。

ワタシのせいですか？

そうですね。

キミに何か悪いことをしましたか？

キミを傷つけるようなことをしましたか？

私、そんなにひどかったんでしょうか？

完璧ではありませんでしたけど。

自分にできる事はやってあげたつもりです。

足りませんでしたか？

箱にすがりつく。

ワタシ キミが苦しんでいるのは知ってました。

あの時、キミの話をもっと聞いていれば。

もっと勉強して、キミの力になれるようにすればよかった。

もっと、顔色をみてあげればよかった。

箱をなでてみるが反応はない。

ワタシ、箱をみながら、箱の反対側にまわる。

横に語りかける。

ワタシ 毎朝目が覚めるたびに体が重い。

キミが箱になって、私を拒否しているのだと思うと、悲しい。

キミとちゃんと向かい合っていれば、こんなことにならなかったんじゃないだろうか。

キミのそばにいて、キミが苦しい時、横にずっと座ってあげられたら、こんなことにならなかったんじゃないか

キミがこんなに苦しんでいるなんて思わなかった。

お願い。

返事をして。

何か言って。

怒ってるなら全部謝るから。

ワタシ、箱の横で号泣。箱に縋り付く。

箱の横でぐったりと床に臥す。

ゆっくり、起きあがって下手にさがっていく。

きいいいーガチャン。交通事故の音。



下手から三角巾で腕をつったワタシ登場

ワタシ 来てくれなかったね。

箱だから？動けないから？

もしかしたら、もう、会えなくなるかもしれないのに。

ワタシはキミにとっでどうでもいい存在なんだね。

わかった。

キミはもうどうでもいいんだな。

ほんとに失望した。

キミのことずっと見てきたけど、こんな風になると思わなかった。

今までやってきたことが全部無駄になっちゃったよ。

それでもいいと思ってるよね。

どうかしてる。

キミは自分のことを何様のつもり？

ひとりでここまで生きてきたつもり？

今まで自分ひとりの力だけ育ってきたの？

誰にも面倒かけてなかった？

誰の世話にもなってなかった？

よく考えるべきじゃない。

自分がどうやって育ってきたか思い出したほうがいいよ。

キミがこうしていることで、誰かに迷惑をかけてる。

少なくともワタシは迷惑だ。

おかしいよ。

「ジュジュンな音がしてさ。」

傷ついているのは自分だけだと思ってる？

ワタシ、箱ににじりよる。

三角巾でつった腕を振り上げるが、痛そうにおろす。

箱をにらみつけ下手に退場。

ピーポーピーポー。

救急車の音。

黒服のワタシ下手から登場。

ワタシ キミはこんな人でしたか。

誰の哀しみもわからなくなりましたか。

どんなに言っても無駄ですか？

わかってますかね

私がどれだけ苦しんでいるかわかってますか？

どれだけ毎日泣いてるかわかってますか？

あんなに、あなたのために頑張ったのに。

わかってもらえないんですよね。

無駄でしたか？

がんばったんだよ。

すごく頑張った。

キミが思ってるより、ずっとずっと頑張ったんだ。

それでこれですか？

どっぴんぽんぽんですか？「これって

何とか言ったらどっぴんですか？

それおかしくないですか？

無視するのっておかしいですよね。

箱を叩く

箱を蹴飛ばす

何度もたたき蹴飛ばす。

叩き、蹴飛ばしながら泣き叫ぶ。

ワタシ 何かしたいことありました？

いや考えてみたらおかしい。

キミにこんなことされる私どっぴんの？

何考えて「こう」いう態度とってんですかね。

箱になんかなくて。

甘やかしすぎましたかね。

自分のことをわかってるんですかね。

やっってることわかってるんですかね。

よく考えて。おかしいよ。これ。

この状況普通じゃない。

ワタシ、泣きながら、下手にはける。

再び大きな金槌を持って登場。

ワタシ いい加減にして！

なんとか言いなよ！

叫びながら、箱に大きな金槌を振り下ろす。

大きな音がする。

沈黙。

箱、変化なし。

ワタシ、放心状態で箱を凝視。

ワタシ、はっと気が付き金槌を手放し箱を見る。

こわごわ箱に触ろうとするが、触れない。

自分の両手を見て泣き叫びながら下手に退場。

読経の声。

白装束姿のワタシ下手から杖を突いて登場。

上手側で杖を置く。

滝の音、両手を合掌するワタシ。

山越えをするような恰好で下手に退場する。

ワタシ下手からリュックを背負い登場。

片手に本、水晶玉(占いの道具)をもっている。

箱の横に座り、リュックからたくさんの道具を出していく。

ワタシ キミは興味ないよね。

やれることは全部やることにしんだ。

キミが、ニミでこっつしている間に外に出てみた。

これは、色で精神をまっとうにするカード。

これは、この図形とお守りを部屋に置いておくといいらしい。

ああ、これは高かった。ツボみたいに見えるけど、宇宙とつながってる。

いろいろ、占ってもらったし、勉強もしたんだよ。

昨日は日本の古来のかみさまのところに行ってきた。

先週はオンラインで海外の人に前世をみてもらった。

これは中央アジアとかで大切にされてるおりん的一种。

もちろん。ワークショップにも参加したよ。

波動調整もしてもらった。

カウンセリングも受けた。

カウンセリングできる資格も取った。

キミのことを思っていたら、胸が苦しくなった

どうしてこんなに苦しいんだろう？

考えてみたことなかったから。

キミの声が聞きたい。

キミの顔が見たい。

どうしてキミは私を拒絶しているんだろう？

ワタシは、キミの気持ちはわからなかったんだろう。

そして、キミは私の気持ちはわからなかったんだよね。

お互いにわかる努力しなかったんだろうね。

少しでいいからすればよかったね。

キミが好きだったものを思い出せない。

思い出せないことが辛い。

キミを忘れてしまっただろうか。

声も顔も、随分前のキミだ。

このまま、こうして終わってしまうんだろうか？

誰かに助けてほしくて相談してみた。

じーっと黙ってればいい。とか。

どーん。としてればいい。そう言われた。

その箱。心療内科に持ってった方がいって言われた。

壊してしまっってはどうか。燃してしまっってはどうか。

どれも、私にはできないと思った。

もしかしたら、キミは「自由意志」していることが幸せなのかもしれない。

「自由意志」していることはキミの自由意志なのかもしれない。

私にはわからない。

分かるうと、今してる。

ただ、わかるうとしてる。

キミに、あーせい。こーせい。なんて言う気はない。

ずいぶんいろいろ考えたけど。

もうないかな。

ワタシ、広げた荷物をもう一度リユックにしまっていく。

ワタシ 今、キミは箱だ。

苦しみのない。悲しみのない世界にいるのかもしれない。

キミは、箱で幸せと悦びに溢れた世界にいるのかもしれない。

箱には箱なりの理由があるんだって思うようになった。

ワタシ、リュックを背負い、荷物を全部持って下手に退場

波の音。虫の音。鳥の鳴き声。

ワタシ、ガラガラと荷物を引きながら下手より登場。

ワタシ おはよう。

今日は雲ひとつない空だよ。

いつか一緒に見た空だよ

風も気持ちいいんだ

空気が澄んで、遠くまで見渡せる

どこかに行ってみようと思う。

知らないところに行ってみようって。

キミは、今は一緒にはいかないね。

次は一緒に行こう。

明日とか明後日とか一週間後とか一カ月後とか一年後とか。

一緒に行けるって、信じてる。

キミは今箱になってるけど、キミのことが大好きだよ。

それは変わらないってわかったんだ。

箱のキミを信じてるって不思議かもしれないけど。

でもそれは。信じて。



他の誰がどういおうと。

私はキミを信じるって決めたから。

いや、もっと前に伝えればよかったよね。

箱になる前から、ずっと信じてた。

何をって言われると。

そうだなあ。

全部かなあ。

キミがここでこうしているだけでいいんだ。

キミに出会えたことだけで嬉しかったって思い出したんだ。

たくさん自分のことを責めた。

たくさんキミのことも責めた。

悲しかったし、苦しかったし、辛かった。

いろいろ考えもした。

ずいぶん時間も経っちゃった。

朝は何回も来て、何回も目が覚めた。

眠れない夜もあった。

さっき自分の手を見たんだ。

ゆっくり動かしてみた。

箱のキミは何を感じてるんだろって思った。

何か感じてるんだろうな。

キミにしかわからないなにか。

ワタシは何を感じてるんだろう？

胸に手を当ててみた。

心臓が動いてた。

なんか、あたたかいなあ。って。

だからね。

キミが箱でもキミはキミなんだよね。って、再認識したんだ。

キミがキミのままどこに居ることに感謝しようと思った。

だってさあ、奇跡だよな

大袈裟に考えればさ。

地球上に八十億人いるんだよ。

その中で箱になったキミを相手にしてるワタシ。

八十億億分の一ってことだよな。

それだけで奇跡かなって。

キミには自由がある。

キミにはパワーがある。

キミは、喜びそのものだよ。

価値ある存在そのものだと思う。

もちろん、私も自由で。パワーがある、

今キミの横でニコニコうろついていられることに感謝する。

